

編集後記

今回は115, 116回研究会の発表を中心にまとめました。最近はPCを駆使し、発表スライドが簡単に作成できるようになり、我々の学会活動も一見活発です。発表直前に会場でスライドを作っている場面をよく目にします。これは毎度指摘するように、学会、研究会が増加した現象と平行しており、まさに学会バブルです。しかし、わずか数分の発表だけで終わりでは、臨床研究としては不十分で、発表の記録を残すことが大事です。投稿を原則としていますが、他誌への投稿や他の理由で、要旨のみの掲載でも研究会当日の質疑応答を参考に、今一度振り返っていただけたらと思います。質疑応答は、当番会長が自らテープ起こしをして掲載しています。発言を忠実に記録したために口語調になっている部分がありますが、臨場感があって良いだろうと考え、校正で余り手を加えていません。116回の教育研修で保存的治療の価値、信念などをご教示下さった石黒隆先生には巻頭言をお送り戴き、感謝感激ありがとうございました。

国内では、昨年、小泉首相の後をうけた安倍首相が早々に退陣し、今は福田内閣ですが、年金問題を始めとして、道路特定財源、医療、教育問題など、政治不信の状況です。一方、アメリカ大統領選挙の年で、初の女性大統領を目指すヒラリーと黒人候補オバマが民主党の候補者争いをしているのに興味があります。資金をどれだけ集めるかがポイントらしいが、最後は金の方で勝つらしいという構図はアメリカ人がやる限りにおいては何故か納得してしまいます。この夏、洞爺湖でサミットが開催されるのが話題になっていますが、たった2日間のイベントのために大騒ぎして、と捻くれた見方をしています。
(佐久間 隆)

編集係 佐久間隆
土田芳彦

北海道整形外科外傷研究会会誌 第24巻

平成20年3月31日

編集・発行 北海道整形外科外傷研究会

代表 荒川 浩

事務局 札幌市中央区南9条西10丁目

札幌中央病院 整形外科内

(昭和60年3月2日 創刊)

印刷 富士プリント株式会社